



広報みまた

新年あけまして

おめでとうございます



寒風をついで

54 / 新年号

第26回町青年駅伝大会スタート

盛大に叙勲祝賀会

勲五等双光旭日章 桑畑正一氏
勲六等单光旭日章 故上原平二氏



桑畑正一氏



上原平二氏の遺影を
手にする

昨年十二月二日、栄ある昭和五十三年度秋の叙勲を受けた、桑畑正一氏と故上原平二氏の叙勲祝賀会がおそかにしかも盛大に行われました。

開会に先立ち、この祝賀会を前に、悉くも永眠されました故上原平二氏の霊を慰め、其福を折り、全員で目録を捧げました。この機会に、氏との逢瀬を案じみにされていた、町内の有志の方々は、改めて惜別の情が胸にこみあげ、御遺族との会話にも、涙をさそうものがありません。

上原平二氏は昭和二十二年町議会議員に当選以来、昭和四十六年まで、実に二十二年もの間町政に参画され、昭和二十六年から総務委員長、同三十年から三十四年まで、議長を歴任されました。

また、二股町農業会議専務理事、国保運営協議会長、樺山土地改良区理事長、人権擁護委員、等々、永年にわたり活躍された方であり、その間氏の豊富な識見と卓越した行政能力を駆使され、町の産業文化の振興、地方自治の確立に、大きく寄与されました。

桑畑正一氏は、昭和十七年より、町議会議員、県議会議員等二十一年もの間務められ、その間県監査委員、農政常任委員長をも歴任され、地方自治の進展に大きく寄与されました。

特に県議生活の十六年間は、全県下の市町村を常に公平な見地から指導され、その行政手腕は、中央部でも高く評価された方であります。

最優秀賞に

山中氏のランド

豚の資質の改良と向上を目指し、研修を続けている町養豚部会（会長 佐沢四雄 会員二百五十六名）では先程初めての種雄豚、繁殖豚合同の品評会を行いました。会場には優秀な種雄豚四頭、繁殖豚三十七頭が出場し、いずれも手入れの行き届いた、しかもそれの特徴をうまく生かし審査員を悩ませています。

養豚経営は価格の差が激しいのでそれをうまく乗り切ること、肉質の改良に努めて来ましたが、豚そのものの血液が乱れ品質が低下した為、養豚部会では「改良の根源は、純粋種の導入を行い、それを基礎豚として、より質の高いF1の造成をはかり、養豚農家の経営安定を目指す」ことを目標に二、三年前から町畜産振興会による純粋種ランドロースの繁殖豚の

- 育成豚 石坂勇夫 瀬尾忠義
- 山中幸治 中村松市 時任裕紀
- 石坂芳三 西田高義
- 西田高義
- 経産豚 栗野忠行 大盛なる子
- 種雄豚 森 正伸
- 森氏の種豚



山中氏のランドロース



山中氏のランドロース

法務大臣として公式訪問

瀬戸山三男先生

昨年十一月十八日、当時の法務大臣瀬戸山三男先生が、本町を公式訪問されました。

前瀬戸山法務大臣は昭和五十二年十月、当時の福田内閣の法相として就任され、ハイジャック防止法、弁護士抜き裁判の制度化に尽力された方であります。

午後二時に役場玄関前に到着され町三役、副議長、常任委員長等と親しくあいさつをかわされた後、中央公民館に於いて、町内の有志及び各種団体の役員約一〇〇名に約四十分間、政情報告をされたあと町長から土木、都市計画関係の陳情を受けられました。その後、町内の現地を視察、養護老人ホームの建設現場、高畑川



旭ヶ丘運動公園での瀬戸山氏

河川改修現場、牛の峠線工事現場等の工事の進捗状況、更に旭ヶ丘運動公園の整備状況などを町長等の案内でつぶさに視察されました。

更に、引き続き行われた講演会には出席者が約八百名を前、国際的な視野に立つて見つめた日本の外交、トル安丹高の問題、失業者の増加、中小企業の倒産、農業施策の見直しなど、現在政府が直面している諸問題を中心に、約一時間間にわたり講演をされました。

医療費を助成

本年一月一日から(母子世帯)

十二月定例議会に提案されていた三股町母子世帯医療費助成に關する条例が十二月十八日の議会本会議で可決し今年の一月一日から施行されることになりました。

この条例は、母子世帯の健康の保持増進を図るため、医療費の一部を支給することにより、母子福祉の増進を図ることを目的とするもので、母子世帯及び、準母子世帯が該当します。

内容の主なもの、対象者(母子及び準母子世帯の人)が通院して治療を受けた場合、その支払った額を町が助成する(ただし入院については月二千円を控除した額)ものです。この条例は北諸県郡内では現在山之内町だけが実施しているもので一月を単位として助成する方法です。

この条例の対象者についての手続き、申請等について詳しいことは福祉生活課におたずね下さい。

図書館だより

町立図書館

図書への寄贈について、昭和五十一年度三股町文化賞受賞者林三世子さん(三股町仲町出身 仮名書道家東京都在住)から寄贈により、町立図書館に林文庫が設置され多くの子どもたちが利用してとてもよろこんでおります。その後一昨年も文庫の充実と寄贈もいたされ、さらに昨年この程多額のお金をいただきました。早速子ども向けの図書「日本の詩集」を購入することにしましたのでお知らせします。

「初めての一年生」

わが子の一年生入学、それは母親にとつてまことにうれしく、また気になるものです。

もうすでに新入児の健康診断や知能検査も終了安心しているものの、幼稚園や保育園とは違って文字を習い字を書き、数をかぞえるなどみんなにおこないようになっているのだろうか、と次々にわきあがる不安があります。

それで一年生の生活、行動、能力、心理などについて母親も予備知識を持っていたら、いくらか不安も解消することでしょう。ただいま図書館にもこれらの図書を展示しております。ご利用ください。

原色版「国定」の紹介

このたび文化庁監修のもとに原色版国定全十二巻が刊行されました。内容は上古、飛鳥、奈良時代から桃山、江戸、明治までの考古、彫刻、建造物、絵画、書籍、工芸品等、国宝一、〇二五件が収録されており、専用書架付で図書館に展示しております。



図書館内に設置されている林文庫

新年のごあいさつ

町長 桑畑 三夫



明けましておめでとうございませう。

輝かしい新春を迎えるにあたり、町民の皆さんの御健康と、御多幸を心からお祈り申し上げます。

私は昨年九月、町長に就任以来、皆様の卒直な、しかも建設的な御意見を拝聴し、三股町の進むべき方向を思索しながら、町政を担当して参りましたが御除をもちまして均整のとれた住民福祉の基礎が形成されつつありますことは、皆様とともに御同慶にたえません。

特に昨年は、町制施行三十周年の記念すべき年を迎え、本町にありまして名実ともに意義のある年であったと思えます。

町政三十周年を記念して建設をいたしております橋山小の改築と、養護老人ホームの建設工事等も、着々として進み、唐の橋住宅を合せて本年度中に完成の予定であります。また旭ヶ丘運動公園

の一角に、各地区の皆様のご創意と御協力によりまして完成いたしました。記念の森の樹木も活着し、今後の三股町の発展とともに順調に育ち、町民の憩いの場として、大いに活用されるものと確信いたします。

更に、農地保全、都市計画、土木など各種の事業も順調で、町の躍進の跡を見ることが出来ますのも、偏に町民の皆様への町政に対する深い御理解と御援助の賜であり、ここに心から厚く感謝を申し上げます。

私はここに新しい年の夜明けにあたり、すぐれた伝統と、豊かな自然に恵まれた郷土三股が、更に伸張するために、「対話と協調」「全体の奉仕者」を基調として「明るく、住みよい、豊かかな町づくり」の決意を全精力を傾注して努力する決意を新たにするものであります。

どうか今後とも高一層の御理解と御協力をお願いいたします。最後に、この新しい年が皆様にとりまして、最良の年でありまして、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

一周年記念競射会

三股弓友会

昨年十一月、開設以来一周年を迎えた弓道場の記念競射会が、県南地区の愛好者約六十名を集め、盛会に開催されました。本町弓友会会員十五名と共に、三股中弓道部の部長二十名も参加し大会に華を添えました。

本町では弓道場が建設されて以来、毎週初任者を対象に、弓道教室が開設されており、それぞれ昼の部と夜の部に分かれて練習に励んでおられますが、当日はこの弓道教室の方々も参加され、見事な腕を披露しました。

弓道教室の指導にあたられる、河野政則氏は、常に心技一体を強調され、礼節を重んじ、素直な心と正しい目で、人と接触するよう

人居者募集

盆地の中で最も自然環境に恵まれた本町は、町民の安らぎを求めて、明日への豊かな生活

の整備事業が、着々と進められています。なかでも公営住宅は昭和二十七年より毎年建設してまいりますが、今年度建設中の、唐の橋住宅(植木、伊藤ソウゾウノクス)は、工事費一億四千六百万円、六室三室、二十四戸、いずれも風呂、水道、ガス施設



記念競射会

に弓道を受講することが肝要だと話しておられます。弓道場が開設されて一年余り、その間の三股弓友会の活躍と伸張は目覚ましいものがあり、特に中学校弓道部は、県ジュニア大会で、男子の部が準優勝するなど近年にない好ましい成長を遂げています。今後の活躍に期待したいものです。

年頭にあたりて

町議会議長 馬渡 平男



新年明けましておめでとございます。

町民の皆さんには、この輝かしい昭和五十四年の新春を健やかに迎えたいと、衷心よりお慶びを申し上げます。

新春を迎えまして私達議会議員も今年こそと、町民の皆さん方の期待と信頼に応えるべく、更に研鑽に努め、町民福祉の伸展の爲、決意を新たに次第であります。昨年は国内外とも経済情勢は激しく揺れ動き、国内においては安定成長下とは言え、不況の波ははげしく揺れ動き、国内においてはなつて施策を講じましたが、国民生活は不況の中で、尚混迷を強いられております。私達議会議員は、この不況と多様化する社会の激動の中でお互いに訓練をこえ、町民の生活の安定と福祉の向上を常に念頭において任務の遂行につとめたいと存じます。

四囲を緑の山波に包まれ、恵まれた立地条件にある本町は、つとに住家の建設が多く、他の町村に類を見ない人口増を示しております。本町では明るく活力ある町づくりの爲、積極的な施策として、生活関連道路の整備、都市計画事業の推進、公営住宅の建設、又養護老人ホーム、梶山小の改築事業、米満地区県営は場整備事業など、又農家の所得向上を図る為の農畜産の振興などが着実に進められ、文化的で明るい郷土づくりが推し進められておりますことは、町民の皆さんと共によろこびにたえません。希望をもって迎えました昭和五十四年は景気の浮揚を期待しておりますが、私達議会議員は、明るい将来に夢を託しながら、町民の皆さんと一体となつて町行政の伸展の爲、懸命に精勵して行く所存であります。

年頭に当りまして町民の皆さんに幸せが充ち溢れ、最良の年でありませう、心からお祈りしまして年頭の挨拶といたします。

家族ぐるみで運動会とソフト大会

植木運動会

昨年の晩秋、植木と蓼池で、支部対抗の運動会とソフトボール大会が行われました。

植木(部長 坂元辰夫氏 九支部 二百六十五戸)、蓼池(部長 山中敬美氏 十一支部 二百八十四戸)とも、町内でも人口増加が激しい振興住宅地として知られる地区で、共にスポーツによって地区内の融和と団結を図り、もつて時代の変動に対応した地域づくりと、体力の向上と健康の増進に目的に開かれたものです。

町内でも今スポーツ熱が盛んで成人三人に二人は何らかの形で、スポーツクラブに加入し、スポーツを楽しんでおられます。この二つの地区もそれぞれのスポーツウェアに身をつつみ、とてもほほえましい情景がみられました。

地区内の老若男女を問わず、それこそ家族ぐるみ、地区民絡ぐるみのこの大会を糧に、更に地区民の融和と団結が図られ、明るく住みよい地域づくりに前進する、すばらしい大会でした。



蓼池ソフト大会

植木運動会

思いやり

恵まれたい人々のために少しでも役立てて、と老人ホームの松熊ミサさん(89才)は歳末たすき合運動に千円を寄附されました。目録だけもか考えていながら、なかなか実行出来ないことを、進んで実践された行為に松熊さんの、思いやりの心がうかがえます。松熊さんは、きつと晴々とした気持ちで正月を迎えられたことでしょう。

ほのぼのの(奉仕活動)

勝岡小 みどりの少年団

勝岡、みどりの少年団(団長外園謙一勝岡小六年会員三十名)はこの程勝岡地区内の道路及び排水路の清掃を行い地区民から大要譽を得ています。みどりの少年団は、自然をいたわり、みどりに親しみ、みどり豊かな美しい郷土づくりを目指すので、本町では現在この勝岡のみどりの少年団、一団体が結成されているだけです。この少年団は、勝岡小学校の六年生三十七名で、昨年の七月二十九日に結成されました。勝岡小には運動場の西側に小高い丘があり、児童の生きた教科書として親しまれて来た恰好の遊び場所でもあり(これをみどりヶ丘と呼んでいます)この自然の環境を整備し、守り育てる意味からも勝岡みどりの少年団の結成は大きな意義があると言えます。みどりの少年団は、みどりを守り、責任を重んじ進んで社会に役立つ、立派な団員であることに誇りを持つ。三、仲良く助け合い、美しい心を持つ。



奉仕作業をするみどりの少年団

二、今まで何かをやろうとする

と、勝手な人が出て規律がよくなかったが、団員となってから班編成をして活動するようになった。

つてみんながきびきびと活動をし規律正しくなった。三、植物を愛する気持ちが起きてきた。四、いろいろな植物に関心を持つようになった。五、旭ヶ丘運動公園の清掃の時、たかさんのべんとう箱、空かんが投げ捨ててあった。それを一つ一つ拾ってビニール袋に入れた。ものすごい量だった。こんな作業をしているうちに「お互いに散らしてはいけない、公衆道徳を守らなければいけないなあ」ということに気がついた。どれを取ってもその内容に感心させられます。今後も育成会長(福永克昭氏)や指導者(巻岐、高田両教諭)の指導のもとに一致団結し更に活発な活動に期待します。

交通安全を!

宮村青年会

社会、地域の課題解決のために、自ら進んで実践してみよう。いかにも青年らしい発想で、現在地域の課題に真剣に取り組んでいる団体があります。宮村青年会(会長内村幸男 会員二十三名)がそれです。自動車等の増加に伴い、交通事故や安全運転違反者が、本町でも増加の傾向にあり、町の対策協議



草刈り作業にとりくむ宮村青年会

十八チームが熱戦

三股町青年駅伝大会

第二十六回三股町青年駅伝競争大会は十二月三日、好天に恵まれ、発足以来最高の十八チーム(青年十三チーム、オープン五チーム)百四十四名の選手に参加によって熱戦が展開されました。午前十時役場正門前を出発、町内一周、三十二・三組を八区間(内女性二区間)に分け各選手共懸命の力走に送って、多数の人々が出て、声援を送っていました。今回の大会でもオープン参加が五チームと、青年の大会に華を添えたことは、大会を大いに盛り上げたことの一つでしょう。

他は全員既婚者、二世も現在では十七人を数え、今大会でも二世二人が選手として華をそそいだのかつさいをあげました。青年の部では初出場ながらこの所団結力を徐々に高めつつある宮村チームが初優勝を飾りました。成績は次のとおり

- 青年の部(二時間一分四十八秒)
 - 一位 宮村 二時間一分四十八秒
 - 二位 餅原 二時間六分十秒
 - 三位 樺田 二時間六分四十二秒
- オープン参加の部
 - 一位 三股新生会 二時間五十三分
 - 二位 樺山青年OB 二時間五十五分
 - 三位 樺山青年OB 二時間四十分

今年の特徴のあったのが四七会チーム(会長大久保保会員二十六名)四七会とは昭和四十七年度の町青年の役員で結成された会というもので、当時の役員男七名、女三名と担当者一(計十一名)でスタートしたのが昭和四十八年四月一日結成以来六年目を迎え、今では独身者もたった一人、



盛会だった青年駅伝大会

「今年ふるさと国体の開催年」

- 一、日本ふるさと宮崎国体もいよいよ長野県から宮崎へと引継がれました。宮崎国体を県民総ぐるみで成功させるため、各種の県民運動が展開されています。
 - ①、豊かな心を育てよう(伸びる心)
 - ②、丈夫な体をつくろう(根性づくり)
 - ③、丈夫な体をつくろう(伸びる力)
 - ④、規則正しい生活で健康を高めよう。(健康増進)
 - ⑤、スポーツ・レクリエーションに親しみ体力を養おう。(県民皆スポーツ)
 - ⑥、安全に気をつけ事故から体を守ろう。(安全生活)
- 二、住みよい郷土を築こう。(安全生活)
- 三、住みよい郷土を築こう。(安全生活)
- ①、自然の保護と創出(自然の保護と創出)
- ②、まちやびらを美しくきれいにしよう。(郷土の美化)
- ③、ふるさとを美しくきれいにしよう。(郷土の美化)
- ④、ふるさとを美しくきれいにしよう。(郷土の美化)
- ⑤、ふるさとを美しくきれいにしよう。(郷土の美化)
- ⑥、ふるさとを美しくきれいにしよう。(郷土の美化)

全国身障者スポーツ大会



以上のような県民運動を盛り上げる為、本町でも体育協会、体育指導委員会、学校長、地区公民館長、各種機関団体役員等五十六名の方が推進員として委嘱されており、皆様の積極的な御協力をお願いいたします。昭和三十九年東京オリンピック大会の直後世界二十二カ国の身体障害者が集い「東京パラリンピック大会」が開催された際、その第二部として国内大会が開催されました。これを契機に昭和四十年の岐阜国体から、毎年国体開催後、その県において開催されることになり、宮崎県は第十五回大会となりました。身体者スポーツ大会は、身体障害者の方々をスポーツを通じて機能の回復を図り、また競技に参加することによって社会との触れ合いを深め、ひいては自分自身の力で強く生きて行く自信と希望をもつていただく為の「希望と友愛の祭典」といわれています。身体障害者に対する理解と認識を高めると共に福祉の向上を目指すこの大会が成功する様理解を深めましょう。

今年も統一地方選挙

明正選挙の実現を!

今年も皆さんも御承知のとおり、統一地方選挙の年にあたります。近年選挙に対する関心が高まりつつあることは非常によろこばしいことではありますが、反面二、三の心ない人達の為に汚ない選挙と言われる様な選挙も少なくありません。特に本町に於いては選挙が行われる毎に違反者が増えつつあることは誠に遺憾であります。

町選挙管理委員会ではこれを受け去る十二月十四日明るい選挙推進協議会を開催し、明るい選挙の啓発と推進に一段と力を注ぐことを決定し、広く町民に理解と協力を呼びかけることになりました。今回から明るい選挙推進協議会

も地区公民館長、町婦人連協長、町青年連協長など、広範囲な体制を整え、推進協議会の組織も一段と充実しました。



明るい選挙推進協議会

源泉所得税の納期の特例

利用者の納期限は一月十日

源泉所得税の納期の特例を利用されている徴収義務者の方が、七月から十二月までに源泉徴収した所得税の納期は一月十日までとなっています。納めていただくようお願いいたします。

昭和五十三年十二月二十日発行 第一三四号

(お知らせ)

御用始め 一月四日

成人式 一月五日十時 武道体育館

消防出動式 一月十四日九時 三小運動場

交通安全運動 十二月二十日～一月十日まで

たこあげ大会 一月十四日予定 町体育館前

交通安全祈願祭 一月一日 早馬神社・御年神社

一月八日 御崎神社

補助造林計画の追加申請について

毎年、造林補助金申請の締切りは、十月十日までとなっておりますが、今年度から、追加申請が認められることになりましたので、お知らせいたします。

追加申請の期限は、一月二〇日までとなっておりますので、造林計画のある方は、森林組合に申請して下さい。

1月の納税

県町民税 4期

保険税 5期

愛のこ寄付

三股町社会福祉協議会では、明後日、三股町社会福祉協議会では、明後日、寄付を次の通りいただきました。故人の冥福をお祈りいたしますと共に社会福祉推進のために有意義に利用させていただきます。

寄付者	故人名	地区	金額
下石トシエ	下石松義	谷	二万円
新森正治	新森スミエ	餅原	一万円
古川秀孝	古川久	切寄	一万円
轟木源	轟木アキヨ	轟木	一万円
上原エキ	上原平二	谷	五万円
蒲生貞信	蒲生貞光	轟木	一万円
上園兼利	上園ミカ	夢池	一万円

三股町の人口

昭和53年12月1日現在

人口	16,940人	出生	21人	死亡	8人
男	7,998人	自然増	13人	社会増	12人
女	8,942人				25人
世帯数	5,185戸				

発行 三股町社会福祉協議会

編集 人事企画課